

一人一人が地域の担い手となること
 地域全体のウェルビーイングの向上
 を目指して

令和6年度 中央地区社会教育の重点

① 学びを支える体制の整備

- ①地域の生涯学習・社会教育を支える体制の整備と人材の育成**
- 教育委員会事務局への社会教育主事の配置に努め、活用する。
 - 地域と学校の連携・協働の核となる統括的な地域学校協働活動推進員の委嘱を進める。
 - 関係機関が実施する講習や研修の機会を活用することで、新たな人材育成を図る。(社会教育主事講習・県や市町村が主催する研修会等)

② 学びを進める計画の遂行

- ①PDCA サイクルを機能させた行政計画の運用**
- 中期的な生涯学習・社会教育計画に基づいた施策や事業を進める。(Plan, Do)
 - 事業評価の結果を施策や事業の改善に生かす。(Check, Action)

③ 学びを広げる機会の充実

- ①住民の願いに応える学びの場の提供**
- 住民のニーズを反映させた事業や講座を実施する。
 - 各種媒体を活用し、効果的に情報を発信する。

④ 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

- ①地域学校協働活動推進員を核とした協働活動**
- 地域学校協働活動推進員による計画的なコーディネート活動を展開する。
 - 地域人材を活用し、多様な学習活動を支える体制整備を進める。
 - ・地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進
 - ・「学校における働き方改革」に資する取組

- ②他部局・課所や民間機関等との連携・協働体制の確立**
- 講座や事業を他部局・課所と協力して企画したり、運営したりする。(福祉部局・地域おこし協力隊等)
 - 民間機関等との連携・協働を進める。(企業・NPO等)

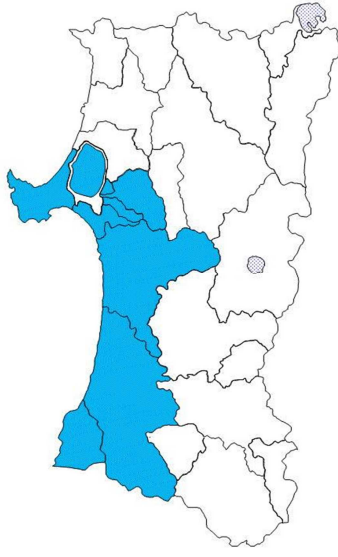
- ②具体的かつ客観的な評価システムの整備**
- 評価指標と数値目標を取り入れた自己評価を実施する。
 - 評価指標と数値目標を取り入れた外部評価を実施する。(利用者・公民館運営審議会委員・社会教育委員等)

- ②地域課題や現代的課題を意識した学習機会の充実**
- 共生社会の実現に向けた誰もが参加できる学びの場を保障する。
 - 地域防災に関する事業や講座を企画する。
 - オンラインによる研修や講座に対応できるICT環境を整える。

- ②地域の特性を生かした放課後活動**
- 地域素材を生かした多様な学習・体験活動プログラムを提供する。
 - 安全・安心に配慮した活動環境を整備する。
 - ・放課後子ども教室
 - ・あきた未来塾
 - ・新・放課後子ども総合プラン

県が進める生涯学習・社会教育関連事業

- ★学校・家庭・地域連携総合推進事業
- ★秋田型教育留学推進事業
- ★社会教育主事有資格者養成事業(社会教育主事講習)
- ★ニューノーマルに対応した体験活動構築事業
- ★“あい”で見守る!あんしんネット構築事業
- ★障害者の生涯学習支援モデル事業
- ★つながり、広げる子どもの読書応援事業
- ★あきたMuseum機能強化事業
- ★あきたスマートカレッジ事業
- ★生涯学習支援システム推進事業「まなびサポート秋田」
- ★あきた県庁出前講座



- ③他地域との交流・連携の推進**
- 他市町村と講座・講師情報を共有し、相互参加や有効活用を進める。
 - 生涯学習奨励員の広域的な活動を促進する。

- ③地域と学校の連携・協働で進める家庭教育支援活動**
- 家庭教育に関わる相談活動や講座を実施する。
 - 家庭教育支援者の育成に努め、地域の実情に応じた家庭教育支援チームの充実を図る。
 - ・アウトリーチ型支援
 - ・「早寝早起き朝ごはん」国民運動

- ④子ども読書活動推進計画に基づく読書活動**
- 読書活動を支えるボランティアの養成・活用を図る。
 - 公立図書館と学校図書館の連携を図る。
 - ・読み聞かせ活動
 - ・ビブリオバトル
 - ・学校図書館活性化支援